



PETボトルリサイクルの 環境教育、最新事例の紹介

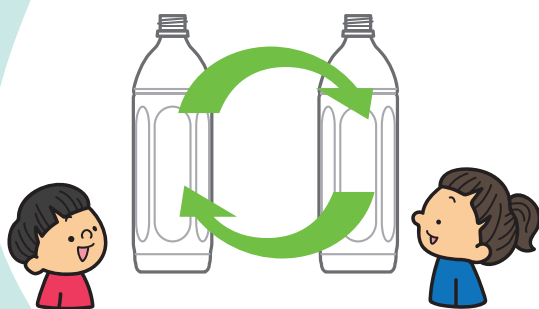
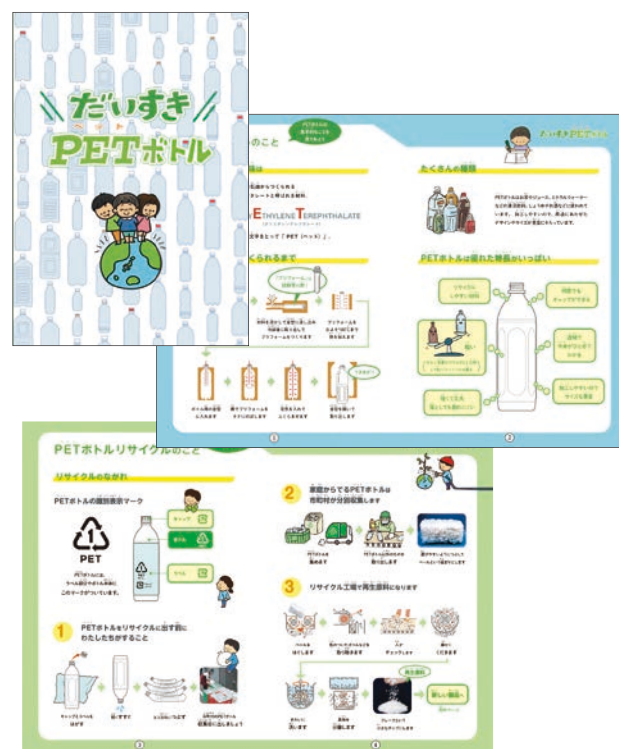
PETボトルリサイクル推進協議会では、PETボトルのリサイクル啓発活動の一環として、子ども向けの環境教育に力を入れています。特にPETボトルは子どもにも身近な存在であることから、PETボトルを通じてリサイクルの仕組みや資源の有効活用について学んで欲しいという教育現場のニーズも高まっています。

これまでポスター、子ども向け小冊子、動画などを制作し、自治体のリサイクルプラザや学校でご活用いただいておりますが、25年度はさらにデジタル教科書ポータル「EduHub®(エデュハブ)」向けに、PETボトルのリサイクルの仕組みや大切さについて学べる小学生向け教育教材「リサイクル探検隊!『大変身するペットボトルのすごさを周りの人に伝えよう』」を制作しました。今後もより多くの皆さんに実際の授業の中でPETボトルのリサイクルを学べる機会を提供してまいります。

小・中学生向け冊子「だいすきPETボトル」を配布

小・中学生向けに制作した学習資料です。まずは、製造工程や種類・特長などの観点からPETボトルの基礎を解説し、その上でリサイクルのながれや分別に必要な手順、収集・加工後どのような製品へ再生されるのかを、簡潔にわかりやすく紹介しています。キャラクターや図解、クイズを取り入れることで、親しみやすく、楽しみながら学べる内容を目指しました。

公式WebサイトではPDF版を公開しており、自由に閲覧・ダウンロードが可能です。また、学校や団体には、ご要望に応じて印刷冊子の提供も行っています。



出前授業を実施

SDGsや環境学習への関心の高まりを背景に、より身近な題材であるPETボトルリサイクルへの注目が集まっています。

当協議会では「事業者に直接、話を聞いてみたい」との要望に応え、依頼のあった学校を対象に「出前授業」を実施。授業では、回収された使用済みPETボトルから作られたフレークや再商品化製品を実際に紹介しながら、リサイクルの仕組みを分かりやすく解説しています。さらに、児童との質疑応答を通じて「PETボトルは大切な資源である」という理解を深めていただく機会を提供しています。



2つの啓発動画を公開

PETボトルリサイクルをより広くご理解いただくため、主に小学生向けに2本の啓発動画を公式Webサイトに公開しています。

1本目「知ってほしいペットボトルのこと」では、オリジナルキャラクターが先生役となり、分別方法やリサイクル工程を分かりやすく解説。2本目「クイズで学ぼう!! PETボトルリサイクル」では、出演者がクイズに答えるQ&A形式で、知識を深められる内容です。いずれも図解や実際の工程シーンを交えており、リサイクルの仕組みを詳しく、かつ直感的に理解できる構成となっています。



「知ってほしいペットボトルのこと」



「クイズで学ぼう!! PETボトルリサイクル」

「子どもとためす環境まつり」などのイベントに出展

前年までは協賛として参加していた東京都中央区環境保全ネットワーク主催の「子どもとためす環境まつり」に、2024より出展しています。親子連れを中心に、PETボトルリサイクルに関するクイズ企画を実施。環境意識の高い来場者からは、日本の国内リサイクル率の高さに大きな関心が寄せられました。

また、「エコプロ」などの他イベントにも継続して出展しており、若年層にリサイクルの仕組みを直接伝える貴重な機会となっています。今後もこうした活動を通じ、PETボトルの再資源化に関する普及啓発に一層取り組んでいきます。



ご希望の自治体・団体にポスター、実験キットなどを配布しています!

PETボトルのリサイクルについて知識を深めていただくため、ポスターや冊子、実験キットを準備しています。

ポスターは2種(分別の啓発(左 A1サイズ)、PETボトルリサイクルの流れ(右 B1サイズ))を、2024年にリニューアルしました。

ご希望の場合は、当協議会にお問い合わせください。



小学生向けEduHubの教材を制作

PETボトルのリサイクルについて学ぶ機会を提供するため、国内唯一の教科書ポータル「EduHub」にて教材を制作・掲載しています。

この教材を通じて、教育現場の先生や子どもたちがPETボトルリサイクルに関する正しい知識を身に付け、資源循環について主体的に考えるきっかけとなることを目指しています。

EduHubの教材構成

タイトル：**リサイクル探検隊！**

「大变身するペットボトルのすごさを周りの人に伝えよう」

対象学年：小学校4年生

対象科目：社会科「ごみの処理と利用」

概要：身近な存在であるPETボトルが、単なる「ごみ」ではなく、未来へと繋がる「資源」であるという新たな価値観を発見することを目指します。本教材を通し、PETボトルが身の回りにあるさまざまな製品（服、文房具、自動車部品など）にあれこれ変わる、という驚きの変身を遂げることを学び、リサイクルし続けようという気持ちを育みます。



指導案

ワークシート



授業スライド



先生の便利ポイント

- 授業ですぐに使えるよう、指導案、ワークシート、授業スライドが一式利用可能です。
- 理解がより深まるよう、工場のリサイクル工程を分かりやすい授業動画にしました。
- 比重分離を観察できる実験キットをご希望の学校にお届けします。

EduHub とは？

主要機能
無料

POINT 1 デジタル教科書のセットアップをサポート！

POINT 2 異なる発行者の教科書が同じ画面で使える！

POINT 3 こどもたちの興味関心を広げる！

教科書発行者などで構成する「一般社団法人こども未来教育協議会」が普及支援するデジタル教科書ポータルであり、2024年3月よりスタートしました。

「EduHub」に対応する全ての教科書・教材が一覧表示される「本棚機能」、児童生徒のアカウントを一括発行できる「登録支援機能」により、教員の事務負担軽減などを実現。多くの方にご活用いただき、申込数は70万IDとなりました。

EduHubのお申し込みは自治体単位でお受けしています。学校でご利用を希望される場合は教育委員会へご相談いただき教育委員会経由でお申し込みください。

問い合わせ先

<https://eduh.jp/support/customer/>



学校での環境教育について教えていただきました

東京都 福生市第五小学校

東京都から1972年に愛鳥モデル校の指定を受け、以前から自然や環境への関心が高い同校。「EduHub」の制作会社とのつながりも背景に、今回は4年生の社会科授業にて、当協議会のPETボトルリサイクル教材を活用した授業が実施されました。

授業は、教員の円滑な進行のもと、動画やクイズを効果的に織り交ぜた構成となっており、生徒たちも理解を深めながら意欲的にリサイクルの仕組みを学んでいました。今回授業を担当した教員や校長からは、内容の難易度は適切との評価があった一方、1時間の授業時間では情報提供が中心になりやすく、児童が自ら思考・議論する時間の確保が必要との指摘がありました。



今後はこの貴重な意見を反映させ、児童がより主体的に理解を深められるような教材を目指して、ブラッシュアップを図っていく方針です。

兵庫県 宝塚市長尾中学校

宝塚市理科教育部会および阪神理科教育研究大会の一環として、宝塚市立長尾中学校にて2025年、PETボトルのリサイクルをテーマとした公開授業が実施されました。

この授業では、主にPETボトルのリサイクル方法や、多様な製品へと再生される仕組みが紹介されました。生徒たちは再生品の実物を手に取ることで、身近な容器が全く別の素材へと姿を変える様子を実感し、関心を示していました。特に、定規やクリップといった製品への再生はイメージしやすかった一方、繊維への再生過程については想像しづかったようです。この課題に対しては、担当教員が工夫を凝らして「手作りの簡易綿あめ機」を用いた実験を導入して、熱で溶けた樹脂が繊維状になる様子を擬似的に体験させることで、生徒たちの理解を助けていました。

本授業の後、宝塚市内の多くの中学校から実験キットの問い合わせが寄せられるなど、教育現場での関心が高まっています。当協議会では、今後も学校教育との連携を通じて、PETボトルのリサイクル率向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



授業で使用したスライド(抜粋)

神奈川県 横須賀市浦郷小学校

海洋ごみやプラスチック問題を学んだ小学5年生児童から「なぜPETボトルはプラスチック素材が良いのか」との問い合わせがあり、当協議会の事務局次長が学校を訪問。面談にて、PETボトルの優れた特性や、環境負荷を抑えた代替容器を実現することの難しさを解説する機会となりました。

これを受けて児童たちは「PETボトルを正しく分別することが海洋ごみ削減につながる」と自ら結論付け、散乱ごみ対策として、正しい分別を促す「透明リサイクルボックス」を考案。多言語表記のデザインも合わせて、授業内でこれらのアイデアはプレゼン資料として発表されました。



授業での様子(上)

2人が考案した「透明リサイクルボックス」(右)